

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	コンビニ（経営者）	・商店街が活性化しており、来客数の伸長は続くと思込む。
		スーパー（企画担当）	・東日本大震災の反動で、今後2～3か月の売上高は増加する見込みである。
		コンビニ（経営者）	・これから夏場に向かって来客数や売上が期待できる。
		コンビニ（エリア担当）	・今年の夏は例年より暑くなるとの予測と、観光客の戻りで、ある程度の売上は期待できる。飲料を中心とした売上で利益も確保でき、前年に比べて収益内容も良くなるとみられる。夏場で利益を確保して、後半の落ち込みに備えたい。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・来月以降は、前年度を上回る稼働率の見込みである。夏場は今のところ予約受注の動きを見ても前年を上回る調子で推移している。ただやはり、円高基調が相変わらず強いことで海外方面との競合や、スカイツリーの開業に伴う東京旅行の人気急増などがあり、他方面との旅行需要の取り合いは激化する見込みである。
		通信会社（店長）	・今後は夏の新商品の発売時期となるため、現在の好調を維持していけば期待が持てる。
		ゴルフ場（経営者）	・客単価が上昇してきており、この傾向が2、3か月後でも変わらない、あるいはもっと良くなるかもしれないとみている。
		住宅販売会社（総務・企画分野）	・イベント等で顧客が増やせたので、今後追加の情報提供や商談に取り組むことにより、2、3か月後は今月より受注数が増やせると見込む。
	変わらない	百貨店（営業企画）	・改装効果や外国人買物客の推移により、現状を維持できるものと予測している。
		スーパー（販売企画担当）	・新規出店等の影響は、今月は半月間だけであったが、翌月からは月間で影響を受けると考えると、景気の悪さは続いていくとみられる。
		コンビニ（エリア担当）	・県内消費動向は安定しており、現在の状況が継続すると判断する。
		衣料品専門店（経営者）	・今月の前半は前年と比べて良い感じで推移していたが、後半は来客数も減少傾向になり、売上も伸び悩んでいる。これからもこのような状況が続くとみられる。
		家電量販店（総務担当）	・7月までは前年の地上デジタル放送への切替えの反動で、売上は厳しい。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・夏休みまでは客の動きは期待できない。梅雨明け後と夏場のイベントに期待したい。
その他専門店〔書籍〕（店長）		・今年に入ってから前年の売上をクリアできたのは今月だけであり、期待こそすれど、まだ予算を許さない状況には変わらない。	
住宅販売会社（代表取締役）		・まだ景気の先行きに対しての不安感があり、消費を手控える傾向に変化が感じられない。	
やや悪くなる	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・いろんな挑戦をしてはいるが、低価格、食べ放題が当たり前になっていて、なかなかヒットが出ない上に、仕入れ価格がじわりじわり上がってきている。	
	観光名所（職員）	・特に東京スカイツリーのような他地域への旅行や、また円高の影響で海外旅行にシフトする。	
悪くなる	商店街（代表者）	・中心商店街のエリアでは、観光客の来客数的には戻ったような気がするが、消費者の財布のひもが固くて、販売力には大変ブレーキがかかっているような気がする。衣料品やその他の販売は売上がなかなか伸びが見えてこず、大変苦戦をしている。	
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		建設業（経営者）	・住宅相談のための来客数が増加している。
	輸送業（本社事業本部）	・夏物商戦に向けて各家電量販店、スーパーマーケットの物量増が期待でき、更にコンビニにおいても出店計画等により、取扱物量の増加が見込める。	
	広告代理店（営業担当）	・一括交付金によるソフト事業の強化に期待している。ただし、県外大手企業の参入によって県外へ予算が流出する可能性を不安視する声もある。	
変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	・工事着工の延期等で、横ばいの見通しである。	
	輸送業（代表者）	・架橋や空港等の大型物件は終わりを迎えるが、小中学校や病院などの建て替えがあり、今年度までは大きな変動は無いとみられる。	

		通信業（営業担当）	・契約規模の拡大の情報はあるが、契約単価は安価で景気に影響するような案件ではない。現状を維持する程度の仕事は確保しやすい状況にあるとみられる。
	やや悪くなる	コピーサービス業（営業担当）	・ほとんどの会社が、自社で印刷物を作れるようになってきているため、印刷物が減ってくる。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（総務担当）	・コールセンターやIT関連企業を中心に、企業の求人意欲は堅調である。即就業といった案件や、良い人材を求めて1～2か月後にスタートという案件もあり、期待が持てる。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・東日本大震災の影響から、企業データの分散化を図る必要があるとの理由で事業所を移設してきた企業が複数社ある。時流に乗っている企業が進出してきたことと、学生のニーズにあった職種での雇用が創出されたことは良い傾向である。
	変わらない	求人情報誌制作会社（営業担当）	・県外からの求人数が増加していない。
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-